



朝晩の冷え込みも緩み、春の日差しを感じる日が増えてきました。今年度も残すところ、あと1ヵ月となりました。1年間、給食へのご理解とご協力ありがとうございました。



## 大切にしたい「食事のマナー」

「食事のマナー」というと、堅苦しく感じるかもしれませんが、決して難しいことばかりではありません。人に迷惑をかけないといったことだけではなく、自然の恵みに感謝する、食べ物を大切にするとといったこともマナーのひとつです。子どもたちが、安全に豊かな食生活を送ることができるように「食事のマナー」を学びましょう。

### ★感謝の気持ちから生まれるおいしさ

私たちは、自然の恵み、生き物の命をいただき、自分たちの命を養っています。食事の前には感謝の気持ちを込めて「いただきます」とあいさつをします。そして、食事の後には、食材を育てたり、集めたり、料理をしたり、駆け回ってくれた人にありがとう、という意味を込めて、「ごちそうさま」とあいさつをします。感謝の気持ちを育むことは、食材や食事への関心を高め、それがおいしさにもつながります。



### ★和食のマナーを知ろう

#### ・器は決まった場所に置きましょう

和食では、食事をおいしくいただくために、器を一番食べやすいところに置くことになっています。手に取りやすい手前に「ごはん」と「汁」を。その奥におかずを置きます。三角食べて、口内調理をする「和食」ならではのマナーです。

手に持つ小さな  
おかずの器は左奥

手に取ることが多い  
ごはん茶碗を一番  
取りやすい左前に



手に持たない大きな  
おかずの器は右奥